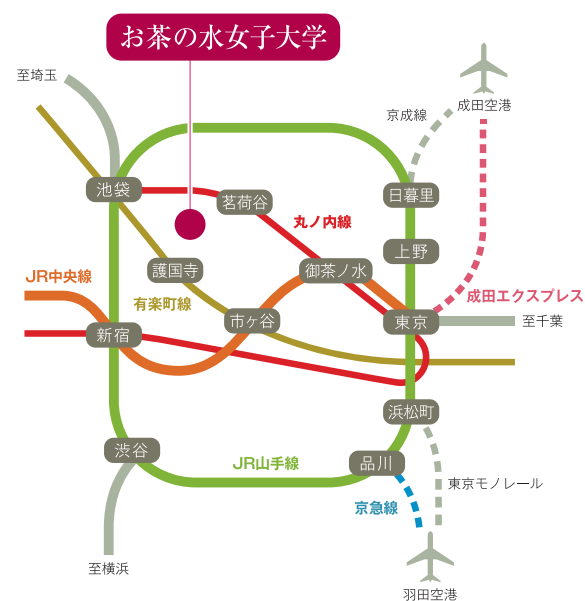


Campus Map

▶ 施設一覧

- | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|---------------|
| 1 大学本館 | 11 情報基盤センター | 21 弓道場 | 31 附属高等学校 |
| 2 大学講堂(微音堂) | 12 附属図書館 | 22 文教育学部2号館 | 32 国際交流留学生プラザ |
| 3 総合研究棟 | 13 学生センター棟 | 23 Student Commons | 33 学生会館 |
| 4 生活科学部本館2 | 14 文教育学部1号館 | 24 課外活動団体談話室 | 34 いずみナーサリー |
| 5 お茶大アカデミック・プロダクション研究棟 | 15 共通講義棟1号館 | 25 人間文化創成科学研究科・全学共用研究棟 | 35 大塚宿舎 |
| 6 屋外エレベーター棟 | 16 共通講義棟2号館 | 26 茶室(芳香庵) | 36 こども園 |
| 7 ラジオアイソトープ実験センター | 17 共通講義棟3号館 | 27 大学体育館 | |
| 8 理学部1号館 | 18 大学食堂(NSSOL Kitchen) | 28 附属幼稚園 | |
| 9 理学部2号館 | 19 保健管理センター | 29 附属小学校 | |
| 10 理学部3号館 | 20 お茶の水女子大学音羽館 | 30 附属中学校 | |

Access Map

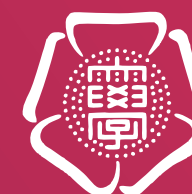


- 東京駅 ● 東京メトロ丸ノ内線【約10分】 ● 茗荷谷駅
- 品川駅 ● JR山手線【約7分】 ● 東京駅 ● 東京メトロ丸ノ内線【約10分】 ● 茗荷谷駅
- 羽田空港 ● 東京モノレール【約30分】 ● 浜松町駅 ● JR山手線【約7分】 ● 東京駅 ● 東京メトロ丸ノ内線【約10分】 ● 茗荷谷駅
- 池袋駅 ● 東京メトロ丸ノ内線【約5分】 ● 茗荷谷駅
- 池袋駅 ● 東京メトロ有楽町線【約5分】 ● 護国寺駅
- 新宿駅 ● 池袋駅 ● 東京メトロ丸ノ内線【約5分】 ● 茗荷谷駅
- 新宿駅 ● JR山手線【約10分】 ● 池袋駅 ● 東京メトロ有楽町線【約5分】 ● 護国寺駅

- ▶ 茗荷谷駅(東京メトロ丸ノ内線)より徒歩7分
- ▶ 護国寺駅(東京メトロ有楽町線)5番口より徒歩8分

国立大学法人
お茶の水女子大学
大学院 人間文化創成科学研究科
Graduate School of Humanities and Sciences, Ochanomizu University

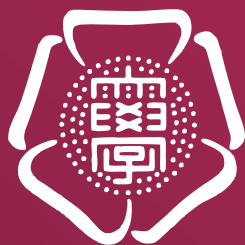
〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1
2-1-1 Otsuka, Bunkyo-ku, Tokyo, Japan 112-8610
TEL:03-5978-5105 FAX:03-5978-5545(広報)
URL:https://www.ocha.ac.jp
発行:2023年4月



お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科

大学院案内2024

GRADUATE SCHOOL OF
HUMANITIES AND SCIENCES,
OCHANOMIZU UNIVERSITY



GUIDEBOOK
2024

Graduate School of
Humanities and Sciences,
Ochanomizu University

CONTENTS

- 01 CONTENTS
- 02 学長メッセージ・研究科長メッセージ
- 03 「お茶大流」女性人材育成
- 04 人間文化創成科学研究科組織図
- 05 比較社会文化学専攻
- 07 人間発達科学専攻
- 08 ジェンダー社会科学専攻／ジェンダー学際研究専攻
- 09 ライフサイエンス専攻
- 10 理学専攻
- 11 生活工学共同専攻
- 13 副専攻プログラム
- 14 キャリア副専攻／共通科目／その他
- 15 奨学金／入学科・授業料
- 17 国際交流
- 19 研究環境
- 20 豊富な研究支援／小石川寮
- 22 大学院入試情報

Messages

自分イノベーション - 時を超え、多角的に！

お茶の水女子大学は、1875年にわが国初の女性のための官立の高等教育機関「東京女子師範学校」として東京・御茶ノ水の地に誕生して以来、145年にわたる女子教育の歴史を刻んできました。優れた教育者を育てることを目的とした「女子高等師範学校」、「東京女子高等師範学校」の時代を経て、1949年に新制の総合大学である「お茶の水女子大学」となりました。2004年に国立大学法人お茶の水女子大学となり「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」との理念の下、本学で学ぶ全ての女性たちが、多様な文化と異なる価値観や考え方を持つ人々と深く理解しあい、信頼しあって、互いに切磋琢磨しながら、自らを成長させて行くことを願い、学びたくても学ぶことのできない開発途上国の女性たちをも含めて、国境を越えた女子教育の推進に努めてきました。

1963年には大学院修士課程が、1976年には博士課程が設置され、それ以来、高度な研究・教育を担う国立女子大学としての歩みを続けています。大学院では、様々な領域における専門性を深めることは勿論ですが、同時に、分野横断的な視点に立って時代をリードし、また、豊かな感性をもって世界の未来を創出する女性たちの育成に取り組んでいます。加えて、女性のライフコースを視野に入れ、少人数教育によって学生の皆さん一人ひとりの能力を伸ばし、本学の使命である女性リーダーの誕生を支援しています。たとえば、前期課程での高い専門性を活かすための就業力育成を目的としたキャリア副専攻、後期課程での企業関係者と自由に情報交換できる場の提供、また博士課程修了後の研究員制度など、学生の皆さんの多様なキャリアパスの充実を図り、自己主体感をもって社会で活躍することを目指したサポート体制の拡充を推進しています。

本学大学院で、真摯に学びの道を極めようと努力する皆さんには、2年間あるいは5年間の学びと自己研鑽を経て、人生の目標に向けて力強く羽ばたいて下さることを願っています。今や「人生100年」でライフシフトが問われる時代—皆さんがお茶の水女子大学の伝統に根ざした確固たる教育基盤を踏みしめ、自らの変革をとおして新たな社会的価値を創造し、世界中の人々の幸せに資する活躍をして下さることを、心から期待しています。

大学院人間文化創成科学研究科について

本学の大学院は「人間文化創成科学研究科」という一つの研究科（学士課程で言えば「〇〇学部」に当たる）だけでできています。しかし「人間文化創成科学」という学問があるわけではありません。内部の諸「専攻」名称をごらんになればわかる通り、実際には各学部の専門領域の全体と同じだけの広がりを持っており、それらを一つの旗の下に集めるためのネーミングなのです。

大学院は学部よりもっと専門領域を深く掘り下げる教育・研究の場ですから、ちょっと考えると学部（お茶大は三つの学部でできています）よりも大学院の方が大きな一括りになるのは不思議な気がしますが、これは、大学院を設立する際に、「文理融合」・「学際性重視」をモットーとしたからです。

実際に研究を進めていくときは、皆さんはもちろん自分の専門を深く掘り下げて行かれるに違いありません。思う存分、全力で研究に打ち込んでほしいと思います。ただ、自分のやっていることは学問の世界の中でどういう位置にあるのかという、広い視野を失ってはいけません。大学院はプロを育てる場ですが、豊かな発想力を持ったプロは、みな興味の範囲が広い人であると思います。

本大学院は、専門の課程のほかに、修了後のことを考えて、いろいろな「副専攻」をも用意しています。異なる専門の学生さんと会う機会ができれば、そうした出会いを大事にして頂ければと思います。



2023年4月
国立大学法人
お茶の水女子大学長
佐々木 泰子



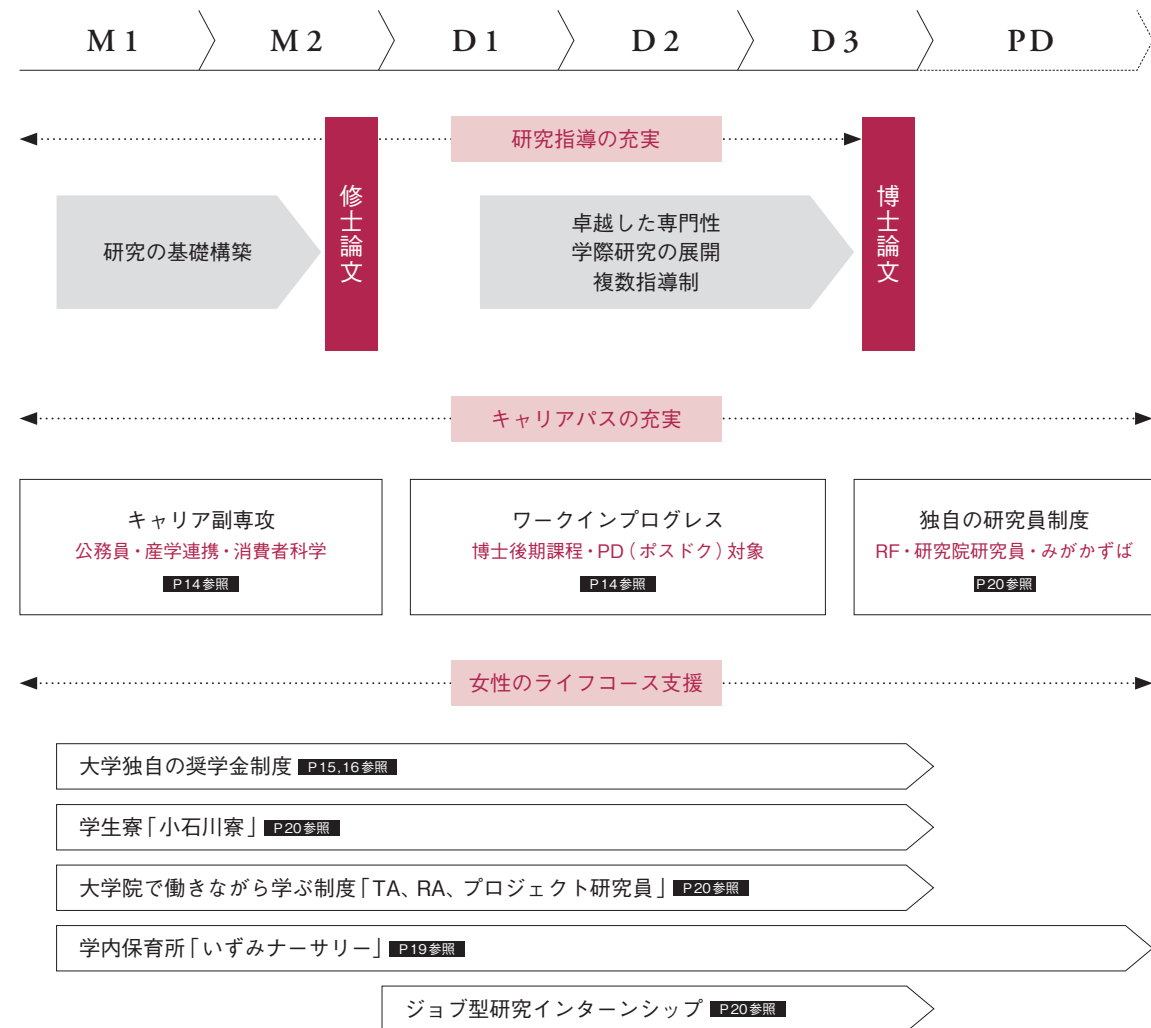
2023年4月
お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科長
浅田 徹

「お茶大流」女性人材育成

お茶の水女子大学は世界に通用する俯瞰的視野と独創性に満ちた真の女性リーダー創出を目指す最高水準の研究拠点として、長い歴史の中で培ってきた実績をもとにグローバルに活躍する女性人材を育成します。女性のライフコースを重視しながら、少人数教育の利点を生かし、個々の学生の能力を伸ばし、女性リーダーの誕生を支援します。

学生の多様なキャリアパスを充実させるために、前期課程での高い専門性を活かすための就業力育成を目的としたキャリア副専攻（公務員/産学連携/消費者科学）、後期課程での企業関係者と自由に情報交換できる場の提供（ワークインプログレス）、また博士課程修了後の研究員制度（リサーチフェロー、研究院研究員、みがかずば研究員）など、社会で活躍することを旨としたサポート体制が充実しています。

- 1 複数指導制**
 博士後期課程から複数指導制を取り、多様な研究視点の導入を可能にします。
- 2 学際性・国際性**
 領域横断的思考を育て、グローバル化する社会に柔軟に対応できる能力を育てます。
- 3 キャリアパス**
 ライフコースに配慮しながら、キャリアパスを提案します。
- 4 長期履修制度によるサポート**
 介護、子育て、または就業等、大学院へ通うための十分な時間を確保できない学生向けに、履修期間を延長することで学位取得をサポートします。
- 5 後期課程からの入学も支援**
 後期課程からの入学も奨励し、各自の専門性に合わせた指導をします。



人間文化創成科学研究科組織図

博士後期課程																	
専攻名	比較社会文化学専攻				人間発達科学専攻				ジェンダー学際研究専攻	ライフサイエンス専攻			理学専攻		生活工学共同専攻		
定員学	27名				14名				4名	13名			13名		2名		
領域名	国際日本学領域	言語文化論領域	比較社会論領域	表象芸術論領域	教育学領域	心理学領域	発達臨床心理学領域	社会学・社会政策領域	保育・児童学領域	ジェンダー論領域	生命科学領域	食品栄養科学領域	遺伝カウンセリング領域	数学領域	物理科学領域	化学・生物化学領域	情報科学領域



領域横断的な進学も可能です

博士前期課程																					
専攻名	比較社会文化学専攻				人間発達科学専攻				ジェンダー社会科学専攻	ライフサイエンス専攻			理学専攻		生活工学共同専攻						
定員学	60名				27名				18名	40名			70名		7名						
コース名	日本語日本文学コース	アジア言語文化学コース	英語圏・仏語圏言語文化学コース	日本語教育コース	思想文化学コース	歴史文化学コース	生活文化学コース	舞踊・表現行動学コース	音楽表現学コース	教育学コース	心理学コース	発達臨床心理学コース	応用社会学コース	保育・児童学コース	生命科学コース	食品栄養科学コース	遺伝カウンセリングコース	数学コース	物理科学コース	化学・生物化学コース	情報科学コース

◎各講座・研究室・教員構成の詳細は <https://www.dc.ocha.ac.jp/>



◎研究者情報 <https://researchers2.ao.ocha.ac.jp/>



◎ 年度別博士前期課程学位授与者数 (過去5年間) (名)

学位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
修士 (人文科学)	66	75	76	57	60
修士 (社会科学)	34	38	30	39	32
修士 (理学)	76	92	93	73	89
修士 (生活科学)	29	24	21	20	30
修士 (学術)	3	7	8	7	6
修士 (生活工学)	4	9	7	2	6
修士 (工学)	3	5	6	15	7
計	215	250	241	213	230

◎ 年度別博士後期課程学位授与者数 (過去5年間) (名)

学位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
博士 (人文科学)	14	19	12	19	5
博士 (社会科学)	12	10	19	6	5
博士 (理学)	11	10	14	2	12
博士 (生活科学)	0	2	3	5	0
博士 (学術)	9	10	10	5	4
博士 (生活工学)	-	-	1	0	0
博士 (工学)	-	1	1	2	6
計	46	52	60	39	32

※論文博士を含む

比較社会文化学専攻

<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/c-cultures/index.html>



比較社会文化学専攻	前期課程	日本語日本文学コース	アジア言語文化学コース	英語圏・仏語圏言語文化学コース	日本語教育コース	思想文化学コース	歴史文化学コース	生活文化学コース	舞踊・表現行動学コース	音楽表現学コース
	後期課程	国際日本学領域			言語文化論領域		比較社会論領域		表象芸術論領域	

■ 特色

本専攻の研究対象は、社会、文化、言語、芸術など多方面にわたっています。また、日本を中心とする領域もあれば、世界のさまざまな国や地域を対象とする分野もあり、人類の長い過去の学問の蓄積を重視するとともに、現代の文化や社会の変化にも目を向けています。こうして、学術研究において指導的役割を果たす研究者を育成するとともに、社会において高度な専門的知識・技能を發揮できる人材の養成を目的としています。

前期課程は専門分野を少し細かく区切りますが、それは、きめ細かく学生の学問的関心にこたえるためです。後期課程はより大きな括りで再編して4つの領域としています。専門的知識のさらなる深化をはかるとともに、領域横断的な創造的能力を涵養するためです。

〔前期課程〕

日本語日本文学コース

日本語日本文学コースは、古典文学・近現代文学・日本語学の三分野から構成されています。それぞれが連関しながら、研究に必要な学識と方法が広く深く学べるようカリキュラムが組まれています。

□ 就職先の例

女子学院中学校・高等学校、恵泉女学園中学校・高等学校、静岡県立高等学校、群馬県立高等学校、東京都庁、青森県庁、福井市役所、日本芸術文化振興会、防府市文化振興財団、KDDI総合研究所、乃村工芸社 等

□ 学位論文題目例

『源氏物語』宇治十帖天候論、『俊成卿女集』の研究、芝全交作黄表紙の手法、樋口一葉「にぎりえ」における〈宿世〉のしがらみ、太宰治作品における〈弱い男〉のテキスト戦略、〈完遂〉を表す複合動詞の通時的研究—「〜トオス」[「〜ヌク」][「〜スマス」]を対象に一、Twitterで用いられる助動詞「たいたい」のミ形

アジア言語文化学コース

中国語学・文学研究の基礎を築きます。古典から近現代文学、言語学と指導体制は整っています。在学中、中国や台湾の協定校に留学する学生が多く、卒業後は、本学及び他大学の博士後期課程へ進学、あるいは企業等に就職します。

□ 就職先の例

東京都庁、セメント協会、東京貿易ホールディングス、ユニアドックス

□ 学位論文題目例

岑参詩の送別歌行について——その語りから導かれるもの、中国語における疑問詞の非疑問用法について、巖歌茶小説における研究—フェミニズム物語論の視点より

英語圏・仏語圏言語文化学コース

英語圏と仏語圏の専修に分かれますが、必要に応じ、各言語圏の交流や比較対照の視点も採り入れて研究を行います。研究分野は文学系と語学系に大別され、各言語の文学・文化及び言語を研究対象とします。

□ 就職先の例

厚生労働省、国会図書館、東京国税局、東京大学職員、福井市役所、静岡県立高等学校、学習院女子中・高等科、大妻中学高等学校、講談社、日本電気(NEC)、三井造船システム技研

□ 学位論文題目例

Writing as a Woman: A Study on Mary Shelley's *The Last Man*, Children's Acquisition of Clefts and Sluicing in Japanese, Japanese L1 Cognate Knowledge Use in English Lexical Inferencing, パリの美術商林忠正—美術品販売によるフランスへの日本文化の紹介に関する考察一、フランス語発音教育に関する考察—「正しいフランス語」とは何か—

日本語教育コース

多様な言語、文化的背景を持つ学習者を理解し、彼らのコミュニケーション能力を向上させるための基盤となる理論や方法、専門性と実践力をもったグローバル社会の日本語教育専門家を育成します。

□ 就職先の例

お茶の水女子大学、東京都立大学、東京大学、岡山大学、獨協大学、早稲田大学、中南大学、釜山外国語大学、タマサート大学、国際交流基金、東京ウエストインターナショナルスクール、専門教育出版

□ 学位論文題目例

中国語を母語とするJSL児童による日本語オノマトへの習得—アニメーションを用いた産出・理解調査を通して—、母語の書記体系の違いがL2日本語における単語処理や読解に及ぼす影響—中国語、ベトナム語を母語とする中級日本語学習者の比較を通して—、「〜てくる／〜ていく」と“〜来／〜去”に見る日中言語話者の事態把握、コーバスの用例を基盤とした多義的補助動詞「てしまう」の意味分析

思想文化学コース

思想文化学コースでは、物事の成り立ちを支える原理や、それについて私たちが抱いている理解を明らかにし、議論の俎上に載せます。現在論じられている問題を、一つ一つ論拠を確かめながら自ら考えたり、過去に書かれた古典の精読を手掛かりに考えたりする訓練を行います。古典の読解では主に西洋の近世から近代の哲学、古代から現代の倫理学、宗教思想、日本の現代思想のテキストを原典で丁寧に読むことで視野の広い思考力を養います。

□ 就職先の例

静岡大学、文部科学省、神奈川県庁、日本マクドナルド

□ 学位論文題目例

フレーゲ的観点による言語の意味について、病の規範性と治療要請、波多野精一『時と永遠』に見られる宗教観および倫理観、ショーベンハウアーにおける意志の否定について—『意志と表象としての世界』に基づいて—

歴史文化学コース

本コースは、日本史・アジア史・西洋史を柱とする歴史学と、西洋と日本の美術史学によって構成されています。文字資料分析に、造形資料、視覚資料などの幅広い分析を加えて総合した多角的な研究を目指します。研究職を目指す人とともに、社会の場で習得した能力や知見を發揮したいという人を歓迎します。

□ 就職先の例

群馬県、富山県、埼玉県、新聞協会、警視庁、船橋市、下野新聞、お茶の水女子大学、東京都立大学、女子学院、TBS、愛媛県美術館

□ 学位論文題目例

摂関期の源氏に対する一考察、興福寺の延年に関する一考察、江戸幕府における書物方組織と文書管理、1900年パリ万国博覧会における日仏関係、清朝乾隆期の捐納出身重要職官と賀世盛、十九世紀カイロの都市開発、『失楽園』に見る天使のイメージ、中世盛期イングランドの年市におけるケルン商人、19世紀後半フランスにおける「芸術」と「科学」

生活文化学コース

生活文化の諸事象を対象とし、多様な視座のもとで新しい学際研究を試みるコースです。日本・西洋の服飾の歴史や現代モードなどを明らかにする服飾文化研究、工芸を中心とした生活文化を比較文化論の立場から論じる研究、代々受け継がれてきた生活文化を民俗学・文化人類学の立場から論じる研究が中心です。生活文化論を人間理解の途として日本の内外に発信する意欲のある学生を求めます。

□ 就職先の例

東京都、防災科学技術研究所、学校法人京華学園、東京大学、東京都庭園美術館など

□ 学位論文題目例

1890年代から1900年代のアメリカにおける家庭内でのレース作り—サラ・ハドリーによるモダン・レースの普及と理想の母親像—、既製服とそのサイズ規格の普及による消費者の購買行動・購買意識の変容、観光資源としてのアニメ聖地の有用性—埼玉県川越市「神様はじめました」を題材に、文化の大衆化に関する一考察：明治時代から昭和初期の茶の湯と三越呉服店の関係を事例として

舞踊・表現行動学コース

舞踊・スポーツなどの身体表現運動について、芸術学、民族学、教育学、身体運動科学などの分野から学際的に教育・研究を行います。特に舞踊教育、舞踊芸術、民族舞踊、動作学、スポーツマネジメントといった研究領域が中心です。舞踊やスポーツの実践をふまえ、理論的、科学的知見を十分に修得した専門的人材の育成を目指します。本コースを志望するものは、修士論文作成のために十分な外国語の能力と専門知識が必要です。

□ 就職先の例

企業一般職及び総合職、中高校教員、短大等の講師、舞踊教師・上演者など

□ 学位論文題目例

中学生のダンスに対するジェンダー・イメージ、ルーマニアのハンガリー民族居住地における民俗舞踊の伝承—カロタセグ地方の民俗舞踊活動を事例として—、コンテンポラリーダンスにみられるスイング動作の運動特性—印象評価との関連から—、ソーシャリー・エンゲイジド・アートに期待されるダンス・アーティストの役割

音楽表現学コース

本コースは音楽学と演奏学の二つの専攻からなり、後者はピアノまたは声楽を専門とします。修士論文は西洋音楽や民族音楽の枠を越えた新しい知見を切り拓くことを目指し、演奏の専門性も高いレベルを要求しています。また、両専攻とも英語の専門文献を読解するだけの語学力を必要としています。

□ 就職先の例

音楽科専任教員、神戸市、日本伝統文化財団、放送局 等

□ 学位論文題目例

G.ヴェルディによる歌劇のシェーナにおける旋律の役割—歌劇「シモン・ボッカネグラ」(1881)第1幕から3つの二重唱の分析—、ドビュッシー『ステファヌ・マラルメの3つの詩』におけるテキストの音楽化—第2曲「あだなる願い」を中心に—、ドイツ民主共和国(1949-1990)の時代における聖トーマス教会合唱団の国外演奏旅行について

〔後期課程〕

国際日本学領域

日本に関するそれぞれの専門分野において高度な研究を進めるとともに、関心を学際的に広げ、総合学としての日本学を国際的視野のなかで研究し、世界に発信する人材の養成を目指しています。

□ 学位論文題目例

言語少数派の子どもの生活体験を基盤とする概念発達の様相

寺山修司の演劇媒体を通じた制度解体

日本の対中経済進出と居留地経営政策

言語文化論領域

アジア、欧米を中心とする各国文学・言語学・言語教育学について高度な研究を行います。また領域横断的な研究視点を採り入れ、文学・文化の研究における新たな知見を国際的に発信する能力を養います。

□ 学位論文題目例

文学史上における阮籍「詠懐詩」の位置、“半山”作家林海音の主婦像、

郁達夫小説に見られる西洋への憧憬

Henry James on Ethical Questions in the Process of Globalization Person in Partial Control

近代フランスの食文化とガストロノミーをめぐる考察—「美食のフランス」(1921-1927)を中心に—

比較社会論領域

哲学思想・歴史からスポーツまでを対象に、世界の諸地域を比較横断する研究・教育を推進し、過去の思想・歴史を踏まえつつ、現代社会が要請する新しい人文科学の創成に寄与する人材の育成に努めます。

□ 学位論文題目例

16世紀前半スペインの対イングランド外交交渉—ウスタシュ・シャビュイ大使を中心に—

表象芸術論領域

本領域は、美術・工芸・服飾・舞踊・音楽を主な対象とし、文化表象・表現を多方面から専門的かつ横断的に分析・追究する領域です。人間理解や国際協力の媒介として表象芸術論を展開する学生を求めています。

□ 学位論文題目例

日本音楽の海外公演における「仲介者」(Vermittler)の役割—ドイツ語圏でのハインツ=ディーター・レーゼ Heinz-Dieter Reeseの実践—

人間発達科学専攻

https://www.dc.ocha.ac.jp/m/human/index.html



人間発達科学専攻	前期課程	教育科学コース	心理学コース	発達臨床心理学コース	応用社会学コース	保育・児童学コース
	後期課程	教育科学領域	心理学領域	発達臨床心理学領域	社会学・社会政策領域	保育・児童学領域

■ 特色

社会的かつ個人的存在としての人間と、その発達過程を対象として、多様なコース／領域を設け、学際的、応用的にアプローチし、高度な女性研究者、職業人を育成します。博士前期課程から博士後期課程まで一貫した教育指導を保持し、特に後期課程ではステージ制により、博士号取得に向けた系統的な教育を行っています。

教育科学コース／領域

教育思想、教育史、教育社会学、教育開発論、教育方法・課程論等、教育学の諸領域を、研究することができます。進学はもちろん教員志望や社会人学び直し等、多様な研究機会を提供しています。

□ 就職先の例

<前期>公務員(文部科学省、東京都庁、衆議院事務局)、国立大学事務職員、公立小学校教諭、私立中・高等学校教諭 <後期>大学常勤職(金沢大学、東京学芸大学、専修大学、東京家政大学、聖徳大学、福山公立大学)

□ 学位論文題目例

<前期>小学校理科における地学指導の実践的考察—天文領域を中心として—、戦後高度経済成長期における東京都青少年教育施設と勤労青少年との関わり—特別区の青年館を中心に— <後期>ボツワナにおける就学前教育・保育普及要因の検討、キャリア形成における高校キャリア教育の役割

心理学コース／領域

認知・発達・社会・教育・臨床心理学を専門とする教員の指導を受けながら、心理学の先端的研究を学び、高度で広範囲な研究方法論や知識を獲得することができます。人間の心理メカニズムを、発達という時間軸、社会という空間軸の中で、多角的・総合的に検討し理解する人材を育成します。

□ 就職先の例

<前期>公務員(文部科学省、家庭裁判所調査官補、東京都心理職)、一般民間企業(集英社、バンダイナムコスタジオ、マクロミル) <後期>大学常勤職(順天堂大学、豊橋技術科学大学、東海大学、山梨大学)、一般民間企業(資生堂、NHKエデュケーショナル、横浜銀行)、公務員(法務省)

□ 学位論文題目例

<前期>擬似的空間無視に及ぼす把持可能性の影響、ネットショッピング利用の規定因および精神的健康との関連性 <後期>青年期女子におけるfat talk生起の背景要因に関する実証的研究、人生における経験の捉え方: 自伝的記憶・将来の想像・ライフスクリプトの関係の検討、児童・思春期の抑うつ傾向の遺伝と環境—心理社会的要因との関連を巡って—

発達臨床心理学コース／領域

教員は、病院、学校、司法、産業などの領域において心理臨床と研究に携わってきた研究者・実践家であり、科学的視点と臨床的視点を組み合わせた訓練を受けることが可能です。前期課程は、臨床心理士資格認定協会の第1種指定校であり、公認心理師受験資格にも対応しています。後期課程の学生は、実践指向的な研究に取り組み、心理臨床実践と研究を両立し、科学者・実践家としてのコンピテンシーを獲得します。

□ 就職先の例

<前期>公務員(家庭裁判所調査官補、法務省心理技官、都道府県の心理職)、公立・私立病院等の心理職、公立・私立のスクールカウンセラー、教育相談所 <後期>大学常勤職(佐賀大学、山梨大学、茨城大学、京都文教大学、東京福祉大学)、公務員(警視庁心理職、法務省心理技官)

□ 学位論文題目例

<前期>「自閉症スペクトラム障害と性別違和はどのように併存しているのか—当事者たちの「自分史」に注目して—」「子どもの攻撃にまつわる初心者セラピストの体験プロセス」「発達障害児の母親の養育を通した内的な変化—エンパワメントの視点から—」 <後期>文学教材を通じた感情体験の探究—小中学生用文学読書体験尺度の作成と仮説モデルの生成—、「母親になる」体験をととした女性心理臨床家の職業的発達—妊娠、出産、子育ての体験と臨床活動の交差—

応用社会学コース／社会学・社会政策領域

現代社会の諸問題(コミュニケーション、メディア、ジェンダー、地域、家族、福祉、医療など)について、社会学を中心に社会科学の理論と方法によって解明し、実践的解決策の提案へ繋がります。専門社会調査士資格を取得する学生も少なくありません。

□ 就職先の例

<前期>法務省、外務省、東京都庁、労働金庫、スルガ銀行、講談社、日本赤十字 <後期>東京都立大学、関西大学、東洋大学、和歌山大学、日本大学、龍谷大学、日本社会事業大学、慶南大学(韓国)、東京大学

□ 学位論文題目例

<前期>日中関係をめぐる世論調査の変遷と特徴についての比較研究、在日中国人の老親扶養問題、「腐女子」の経験とジェンダーの関係性 <後期>レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル「家族」の質的研究、高齢者介護政策の転換と家族介護への現金支払い、現代日本における男性不妊の位置づけ、Dynamic Hamming Distance によるキャリアの類型化

保育・児童学コース／領域

発達心理学、教育学、保育学、社会学など多様な境界領域から保育・児童学を研究する教員を配置し、テーマの焦点化、研究方法論の検討プロセスを重視しながら研究室を決めていきます。社会人入学者が多いのも特徴です。

□ 就職先の例

<前期>短大教員、一般企業、保育所保育士、幼小中高の教員 <後期>大学教員、短大教員、幼小中高の教員、従来の専門職に戻る

□ 学位論文題目例

<前期>保育実践のスケッチによる「記録と省察」の行為への探究—子どもとモノのかかわりに着目して—、子どもの放課後の居場所選択に関する研究—保護者へのインタビュー調査から—、幼児の睡眠に関する保育者の意識についての考察—2歳から5歳の保育園児の午睡と生活リズムに着目して— <後期>ノルウェーの幼児教育における公平な社会に向けた取り組みに関する研究

ジェンダー社会科学専攻

https://www.dc.ocha.ac.jp/m/gender/



ジェンダー社会科学専攻	前期課程	—
ジェンダー学際研究専攻	後期課程	ジェンダー論領域

■ 特色 [博士前期課程:ジェンダー社会科学専攻]

ジェンダー視点を手がかりとして、既成の学問体系とその所産を反省的に見直し、女性・家族・地域・国家などにかかわる諸現象をグローバルな視野のもとで学際的に解明する分析力、生活の場で直面する具体的課題から出発してその解決に向けて提案する実践力の涵養を目指します。

●ジェンダー研究科目群=ジェンダー研究の基礎から最先端までをカバーする多彩な科目群。ジェンダー論を集中的に学び、社会や文化の諸問題に対する批判的な思考力を磨くことを目指します。さらに、より高度なジェンダー研究へと進む経路ともなります。

●専門科目群=地理学、人類学、地域研究、開発学、法学、政治学、経済学、社会学などの各学問分野における専門的科目群。個別ディシプリンを基礎から発展のレベルまで体系的に修得するためのカリキュラムです。

●学際方法論科目群=視野を広げ、方法論を磨く科目群。分野の異なる複数教員による学際共同演習や調査法(量的、質的、フィールドワーク等)に関するコースワークなどを提供します。研究を進める前提として、広角の視野と厳密な方法を身につけてもらうことが目的です。

この3つの科目群から、各自のテーマ等に応じて様々なパターンで科目選択ができます。また、国内外のジェンダー研究の拠点や海外協定校、UNDPなど国際機関とも連携して多彩なカリキュラムを提供します。本学出身者はもちろん、多くの留学生・他大学出身者・社会人院生が切磋琢磨して学んでいる専攻です。

□ カリキュラムの構成

	ジェンダー研究(問題)	専門科目(体系)	学際方法論(方法)
選択	セクシュアリティ論 男女共同参画社会論研究 社会保障とジェンダー ジェンダー統計論演習など	各学問分野を体系的に修得するための専門科目群	ジェンダー学際共同演習I~IV
選択必修	ジェンダー立法過程論 ガバナンスとジェンダー		研究方法論コースワーク(量的、質的、フィールドワークから選択)
必修	ジェンダー基礎論		ジェンダー社会科学論
特別研究(修士論文)			

□ 修士論文題目例

手料理に関する母親規範意識—未就学児を持つ正規雇用の母親の質的研究、配偶者暴力相談支援センターの相談機能に関する調査研究—東京都23区を例に、Twitterでジェンダー関連政策を発信する政治家が受けるネガティブな反応に関する分析—選択的夫婦別姓への賛成を例に、地方出身の新規大卒就職者のUターン志向と「家」意識の考察—栃木県を事例として、日本のお笑い界における性差別の再生産メカニズム—バラエティー番組のコンテンツ分析と若手芸人へのインタビューから見えてきたもの、現代日本の「男性の美容」を起点とする男性性理論の再検討: 構造的男性性からパフォーマンス性へ、男性性へ、家庭空間における賃労働とジェンダー—COVID-19緊急事態宣言下での女性たちのテレワーク経験から、社会的再生産の危機と代理出産をめぐる考察—リプロダクティブ・ジャスティスの視点から、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」の制定・改正と政策ネットワーク

ジェンダー学際研究専攻

https://www.dc.ocha.ac.jp/d/gender/



■ 特色 [博士後期課程:ジェンダー学際研究専攻]

本専攻はジェンダー研究教育の拠点形成として2005年4月に設立されました。博士後期課程において学際研究の視点からジェンダー研究の確立・重点化をはかる日本で初めての専攻です。専攻の教員は、それぞれの学問領域を土台に現代の社会的課題を分析する授業内容を提供しています。これまでの修士生の博士論文はジェンダー視点から既存の学問分野に新たな視野を提示した事が評価され、ジェンダー法学会賞、女性史学賞、人文地理学会賞、経済地理学会賞、山川菊栄賞、日本人口学会優秀論文賞等を受賞しています。

□ 博士論文題目例

現代中国の高度成長とジェンダー—農嫁女問題の分析を中心に、紛争後復興期のジェンダー・クォーター東ティモール女性のネットワーク化、共働き夫婦の育児責任のジェンダー化プロセス—保育所入所申し込み手続きに着目して、「承認のライシテ」とムスリムのための場所づくり—フランス・ストラスブールにおけるモスク・墓地・宗教間対話、冷戦後安全保障の再構築と国際ジェンダー平等規範—女性・平和・安全保障アジェンダの形成と日本による受容、女性の就業と出産—出産後のキャリアに着目した実証分析、住宅弱者の生活再建における可視化しづらい困難—DV被害者とホームレス経験者の事例から、男性性と有配偶者の家事・育児遂行—ケアする男性性に着目して、核家族世帯における子どもの家事遂行—親の家事遂行と親子のコミュニケーションに着目して、子どもを持つ意欲と実現: ドイツの大規模パネルデータ分析から、精神障害者の「地域移行」における生の技法とケアの場所、「なんとかなる」ことで創られる日常—現代アルジェリア女性の有償家内労働にみる実践的戦略、ケイパビリティ・アプローチ実践のための一試論—未婚女性非正規雇用者の生活の質の検討を例に、求職者支援訓練のジェンダー分析: 受講者のエンパワメントの視点から

□ 両専攻のキャリアパスと進路

◆博士前期課程→就職(家庭裁判所調査官、内閣府、総務省、国立国会図書館、長野県庁、横浜市、短大専任講師、高校教員、海外協力隊、リクルートマネージメントソリューションズ、ソニー、日本経済新聞社、時事通信社、富士通総研、日本総研、大和総研、リンクアンドモチベーション、楽天グループ、アンダーソン毛利友常法律事務所など)

◆博士前期課程→本学後期課程進学→就職
大学教員等(茨城大学・岩手大学・立教大学・横浜国立大学・実践女子大学・福岡女子大学・天理大学・神戸学院大学・松本大学・帝京平成大学・ノッティンガム大学・明海大学・立命館大学・同志社女子大学・ロシア高等経済学院の教員、国立社会保障・人口問題研究所研究員など)

◆博士前期課程→他大学後期課程進学(東京大学・一橋大学・ロンドン大学・エディンバラ大学など)

◆他大学博士前期課程→本学博士後期課程→就職
大学教員等(東京外国語大学・日本大学・アモイ大学・フランクフルト大学・メキシコ国立自治大学・奈良教育大学・法政大学・国際ファッション専門職大学の教員、国立女性教育会館専門員など)

ライフサイエンス専攻

<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/life/index.html>



ライフサイエンス専攻	前期課程	生命科学コース	食品栄養科学コース	遺伝カウンセリングコース
	後期課程	生命科学領域	食品栄養科学領域	遺伝カウンセリング領域

■ 特色

英語のLifeは、生命だけでなく生活や人生をも含む言葉です。ライフサイエンス専攻では、この広義のLifeを教育します。生命の基本的な仕組みを探求する科学、それを現実の生活に役立てる科学、両者を分離せずに両輪として研究します。本専攻には次の各コース／領域の他に、副専攻プログラムとしてグローバル理工学、コア・サイエンス・ティーチャーがあります。

生命科学コース / 領域

変動する環境の中で生きる生物の真の姿を理解するために、生物の普遍性と多様性の両面を対象として、遺伝子・ゲノム・生体分子・細胞・個体といったさまざまなレベルで基礎研究を行っています。前期課程では、大学院授業の受講と研究に携わることで、生命科学を含む幅広い分野での研究・開発の推進者として社会で活躍できる力を養います。後期課程では自ら研究を構築し、生命科学の創造者として活躍できる力を身に付けます。修士論文では「基準振動解析を用いたPiezoタンパク質の構造変化解析」「嗅覚受容体Or85cの種特異的な嗅覚行動への効果」「緑藻クラミドモナスにおける高TAG蓄積の変異株のスクリーニング」「イトマキヒトデ未受精卵アポトーシスにおけるCaspase-3/9活性化機構の解明」、博士論文では「卵巣内におけるSerum-and glucocorticoid-regulated kinase (SGK) による細胞内pH上昇とcyclin B-Cdk1活性化を介したヒトデ卵第一減数分裂の制御機構」「外傷性脳損傷修復過程における環状ホスファチジン酸誘導体(2ccPA)の機能解析」などの研究を行っています。

□ 就職先の例

【博士前期課程】産業技術総合研究所、田辺三菱製薬、サーモフィッシュャーサイエンティフィック、ADVANTECグループ、日立ハイテック、東京ガス、森永製菓、カンロ、サンエイ糖化、インタージェテクノスフィア、ミルボン、NTTドコモ、NTTデータ、大和総研、キリンホールディングス、日鉄ソリューションズ、みずほリサーチ&テクノロジーズ、厚生労働省、横浜雙葉中高

【博士後期課程】理化学研究所、産業技術総合研究所、リコー、コーセー、羊土社、弁理士特許事務所、田園調布雙葉中高

食品栄養科学コース / 領域

食物を美味しく食べる方法や、生活習慣病の予防、食の安全性などの問題を解析、解決することを目指し、食物や栄養に関する基礎的研究から応用開発や臨床対応までできる食物と栄養のスペシャリストを育て、大学教員や食品企業の研究者や開発者、管理栄養士のリーダーを育成することを目的としています。食品の機能、嗜好性、安全性、健康や疾病と食品の関連などを有機化学、生化学、分子・細胞生物学、統計疫学などの手法を駆使して、教育・研究を行っています。修士論文では「ダイコンのテクスチャーの変化に及ぼす金属イオンの影響」「多価不飽和脂肪酸の質的变化による肝脂肪蓄積と脳機能の解析」「人々の健康と地球環境の両方に配慮した食事に関する研究」などの研究を行っています。

□ 就職先の例

【博士前期課程】日清オイリオ、味の素、カゴメ、J-オイルミルズ、キッコーマン、ニッポン、ニチレイフーズ、武田薬品工業、日本たばこ産業、タイガー魔法瓶、伊藤忠商事、大和総研、NTTデータアイ、富士通ゼネラル、東京都庁

【博士後期課程】長野県立大学(助手)、東京大学農学部(非常勤研究員)

遺伝カウンセリングコース / 領域

遺伝カウンセリングは、疾患の遺伝学的関与について、その医学的影響、心理学的影響、及び家族への影響を、人々が理解し適応していくことを助けるプロセスです。情報提供と心理支援の両者から構成され、疾患の発生及び再発率の評価のための家族歴及び病歴の解析、遺伝医学や福祉に関する教育、来談者が十分な情報を得て理解した上での自律的選択や来談者のリスクや状況への適応を促進するためのカウンセリングが含まれます。当コース／領域では、広汎な分野で活躍できる優れた遺伝カウンセラーの専門教育と、遺伝カウンセリングに関わるさまざまな分野の研究と臨床的実践を行っています。また、博士後期課程では、遺伝カウンセリングの指導者育成を行います。

□ 就職先の例

【博士前期課程】国立病院機構横浜医療センター、埼玉県立小児医療センター、埼玉医科大学、国立がん研究センター東病院、東京都立小児総合医療センター、国立病院機構東京病院、東京医科大学、静岡県立総合病院、聖マリアンナ医科大学、浜松医科大学

理学専攻

<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/sci/index.html>



理学専攻	前期課程	数学コース	物理学コース	化学・生物化学コース	情報科学コース
	後期課程	数学領域	物理学領域	化学・生物化学領域	情報科学領域

■ 専攻の目的 [博士前期課程]

日本は、若年層の割合が減り、高齢化社会が急速に始まり、若者が社会を支える時代となりつつあります。これからも日本に求められている役割は、自然科学・応用科学に関わる研究と開発です。これは、高い専門知識を基礎としており、実際の社会に役立つ技術にも結びついています。科学の諸分野で研究と開発に携わる女性の力が求められています。理学専攻は、数学、物理、化学・生物化学、情報科学の分野において高い専門的知識と基礎的な広い分野の知識を身につけ、自分で考える創造力のある学生を育成することを目的とします。そして、女性の活躍が期待されるテクノロジーの分野で要求される高く広い知識を備えた人を育てます。社会に進出して、活躍する女性のライフコースを重視して、それに役立つような教育と研究をサポートします。

■ 専攻の目的 [博士後期課程]

現代の科学分野は、境界領域、学際領域に大きな進展が見られます。理学博士の果たす役割は、自然科学・応用科学に関わる研究と開発の中で、今まで以上に重要性が増しています。高度専門職業人の養成のニーズを踏まえ、専門知識を幅広く組み合わせることによって高い応用力を養っていく教育を行い、それまでの限られた専門分野から新しい分野に進出できる幅広い知識を持った研究者を育てます。境界領域、学際領域で貢献できるように、多くの異なる分野の人と協力して研究を進め、ターゲットを見つける能力を育成します。また、家庭と仕事を両立させる女性のライフコースを視野に入れて、研究活動を支援します。

□ 学位論文題目例

<数学コース / 領域>

- Representation theory of compact quantum groups based on operator algebras and its application (2019年度、博士)
- Fibered knot をもつ3次元多様体のHeegaard分解 (2020年度、修士)
- 3次元mapping torusのHeegaard分解 (2020年度、修士)
- 標本化関数に基づくカーネル法とその応用 (2020年度、修士)
- 素因数分解アルゴリズムと離散対数問題アルゴリズムの計算量からみた安全なビット長の選択 (2020年度、修士)
- AES暗号のSubByte変換をサイクル分解した結果が及ぼす安全性への影響 (2020年度、修士)
- 正則領域の層係数コホモロジーによる特徴付けについて (2020年度、修士)
- 二次体の種体について (2020年度、修士)
- ガウス整数による複素数の連分数展開 (2020年度、修士)

<物理学コース / 領域>

- ベクトル型媒介粒子モデルによる暗黒物質探索の研究 (2021年、博士)
- 強磁性超伝導候補物質RET2B2Cの研究 (2020年、博士)
- シンプルなモデルによる切り紙構造の力学特性 (2019年、博士)
- イジング模型とボルツマンマシンとその周辺 (2021年、修士)
- 高次トポロジカル絶縁体の電気伝導特性に関する理論的研究 (2020年、修士)
- 損失がある微小共振器と2準位原子系を用いた量子相関の研究 (2021年、修士)
- HL-LHC ATLAS実験に向けたシリコンピクセル検出器の粒子線に対する応答評価試験 (2020年、修士)

<化学・生物化学コース / 領域>

- ・アネキシンA4の血液凝固内因系経路の阻害機構 (2019年度、博士)
- ・MOFの電解合成に向けたFTO電極上の銅の電析／溶解反応の詳細追跡 (2020年度、修士)
- ・金ナノ粒子の可逆的な回収を指向した両親媒性物質のゲル状会合体の制御 (2021年度、修士)
- ・ジペプチド環状錯体結晶によるヘテロナノ空間の協同的ゲスト包接挙動 (2021年度、修士)
- ・赤外分光法を用いた4-アミノベンゾニトリル-水1:2クラスターの水和ダイナミクスの観測 (2021年度、修士)
- ・ANXA1をスキャフォールドとした細胞内で作用する標的結合タンパク質の創出 (2021年度、修士)
- ・新規PRアンタゴニストとしての6-ピロールキノロン誘導体の構造活性相関 (2021年度、修士)
- ・有機光レドックス触媒を用いたペルフルオロアルキル化反応の開発 (2021年度、修士)

<情報科学コース / 領域>

- ・日本語談話関係認識のための理論とコーパス構築 (2019年度、博士)
- ・Comparative Visualization with 3D and Virtual Reality Techniques for Observing Mode Water Regions (2019年度、博士)
- ・Summarization and Visualization of Movement Trajectories (2019年度、博士)
- ・Visualization of Networks Including Categorized Nodes for Summarization and Comparative Analysis (2019年度、博士)
- ・伝統芸道に親しむことを目指したコンピュータアプリケーション (2019年度、博士)
- ・定量的・定性的情報に基づく局地的降雨情報の推定に関する研究 (2019年度、博士)
- ・Conditions for partial and full synchronization of indirectly coupled molecular oscillators (2021年度、博士)
- ・化学反応を利用した日常的な実体インタフェースの提案 (2021年度、博士)
- ・似顔絵制作支援のための顔パーツ生成とインタフェースの提案 (2021年度、博士)
- ・日常携帯機器の電波検知履歴を利用したヒトとモノの探索支援 (2022年度、博士)

□ 就職先の例

【博士前期課程】アマゾンウェブサービスジャパン、ウテナ、栄光、NTTドコモ、FBS、エンビジョンAESCエナジーデバイス、オルガノ、グーグル、KDDI、住友化学、ソニー、大王製紙、太陽生命保険、大和総研、中部電力、電通、凸版印刷、日鉄ソリューションズ、日鉄日立システムエンジニアリング、日本アイ・ビー・エム、日本銀行、日本経済新聞、日本ケミコン、日本原子力研究開発機構、日本電気、日本電信電話、日本ビューレット・バックカード合同会社、日本放送協会、日本マイクロソフト、野村総合研究所、長谷川香料、パナソニック、バリューコマース、バンダイ、東日本電信電話、東日本旅客鉄道、日立システムズ、富士通、ブリヂストン、プロシップ、ミクシィ、三井化学、三菱総合研究所、三菱電機、三菱UFJ銀行、宮崎銀行、MeijiSeikaファルマ、メルカリ、ヤフー、横浜銀行、横浜ゴム、ライオン、リクルート、リコー

【博士後期課程】アクサ損害保険、科学警察研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、住友電気工業、大日本印刷、WDB、中央大学 理工学研究所、TIS 戦略技術センター、ディスコ、テルモ、東京工業大学情報理工院、東京大学地球観測データ統合連携研究機構、日産自動車販売、日本アイ・ビー・エム、日本エア・リキード、日本電信電話、三菱ケミカル、ヤフー

生活工学共同専攻（前期課程／後期課程）

<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/hce/index.html>



現在、理工系女性人材は極めて不足しており、高度な理工系専門知識を有する女性人材の育成が課題となっています。とりわけ、生活者の視点をもった女性研究者・技術者の育成・活躍は、今後の日本の産業界を支える活力源となり得ると言えます。生活工学共同専攻では、工学諸分野の基礎から応用まで幅広く理解した上で、人間生活における諸課題を柔軟に捉え研究する能力を有する女性人材の育成を目的とします。

※本専攻では奈良女子大学と互いに教育研究資源を有効活用しつつ共同で教育プログラムを運営します。それにより、質の高い教育研究を提供するとともに、新たな学際的・先端的領域への先導的な対応を目指します。

■ 生活工学 Human Centered Engineering

近年、社会整備が進んだ国々では、従来焦点が当てられてこなかった子どもや女性、高齢者、障害者などに対し、技術の目が向きつつあります。しかしこれまで工学が対象としてこなかったユーザーに対しては、重厚長大を旨とする工学手法は、必ずしも有効とは限りません。これからの工学では、あらゆる人を視野に捉え、どこでも誰にでも使える技術が必要とされます。すべての人々が質の高い暮らしを送ることができることをめざす工学、これが「生活工学」です。生活する人の視点から技術を捉えなおし、新しい価値を創造し、人と暮らしを中心としたものづくりを実践します。科学技術にライフスタイルを合わせるのではなく、ライフスタイルを含めた科学技術のあり方を創造します。

■ 求める人材

人間と生活環境に関わる現実の諸課題に強い関心があり、生活工学的観点から課題解決に取り組む意欲・能力をもつとともに、研究成果の提案・還元を通じて社会に貢献する高い志を有する人材を育成します。この考えのもと、前期課程では、理工学系、生活系等の4年制大学の卒業生、学士の学位を持つ社会人などを求めます。博士後期課程では、本共同専攻修了者、他大学院関連分野の博士前期課程修了者、並びに修士の学位（またはそれと同等以上の学力）をもつ社会人を求めます。とくに博士後期課程には社会人を積極的に受入れます。女性のライフイベントに配慮した長期履修制度を設けています。

■ 研究指導体制・修了要件

主指導教員ならびに副指導教員を配置します。副指導教員には奈良女子大学の教員を含めます。両教員が協力し研究・履修指導を行います。東西に位置する両大学の地の利を生かしながら、社会・文化・歴史的背景の異なる首都と古都で生活と技術の問題を考えることで視野が広がり、今日の生活上の様々な問題についてより深く理解できるようになることも本共同専攻の特徴です。双方向遠隔TV会議システムを活用した講義や長期休業期間の集中講義などにより授業履修を支援します。取得可能な学位は、修士、博士とも、生活工学、工学または学術です。

■ カリキュラムの特徴

分野を超えたコラボレーションによる総合的な解決策の確立が本専攻の特徴です。そのために、生活工学デザインワークショップ (LIDEE, Life Innovation by Design & Engineering Education) を設け、生活関連課題の工学的解決のための融合的手法を修得します。また、倫理・知財についても学びます。

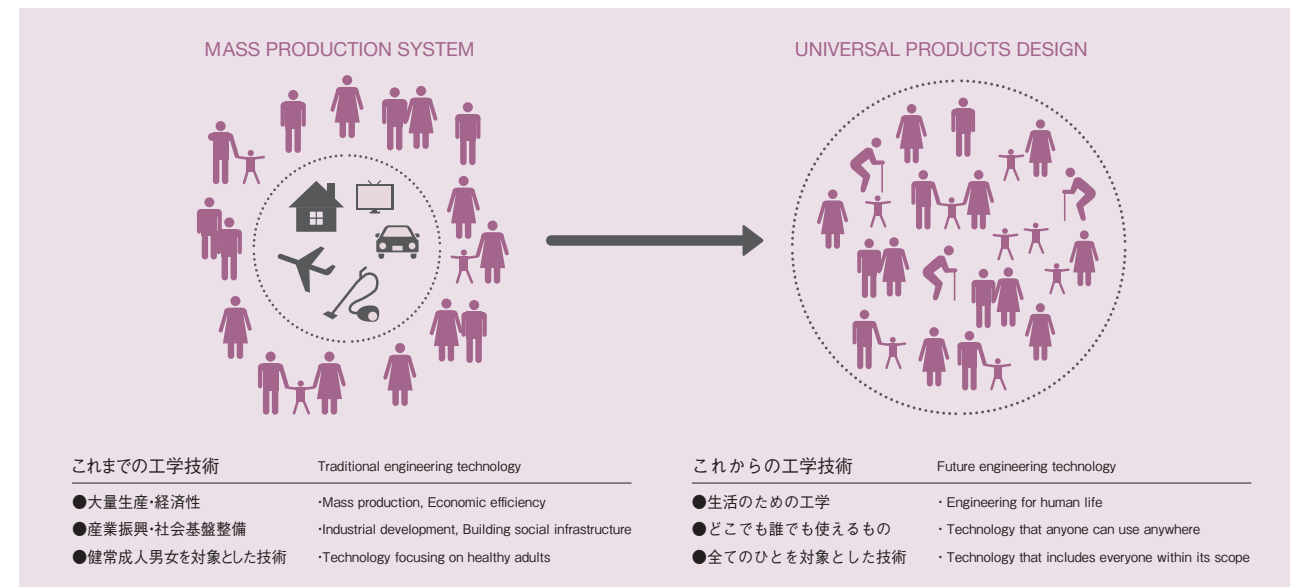
■ 想定される進路

前期課程では、生活関連の理工系企業の製品開発者、公務員、教員など、後期課程では、研究機関や企業の中核的研究者・グローバルリーダー、大学教員などです。

■ 生活工学研究テーマ例

<前期課程>
UV-LEDによる病原微生物の消毒処理
化学的消臭機能を持つ繊維の開発
床振動情報を利用した身体活動量推定法の開発
室内暑熱環境における温度感覚および調整行動
子どもを対象とする建築デザイン教育を目的とした、おもちゃ・遊びの調査と提案
複雑な視覚情報存在下における看板の誘目性に関する研究

<後期課程>
雨水の家庭用水利用の有効性と住民の受容性
足底圧計測デバイスによる身体活動量計測システム開発
都市生活者の生活充実からみた交通結節点の価値の現代的な再定義



在学生の声



人間文化創成科学研究科
比較社会文化学専攻
歴史文化学コース
博士前期課程2年
横手 夢奈

私は18世紀オスマン朝の外交関係について研究しています。歴史文化学コースのゼミは少人数で行われており、疑問などを先生方に質問しやすい雰囲気が魅力的だと感じています。比較社会文化学専攻では専門分野のゼミはもちろん、他分野の演習授業の受講も可能です。他分野の先生方や学生と意見を交わし、歴史学では考えなかった新たな知見を得ることで、自分の研究を俯瞰できるようになります。



人間文化創成科学研究科
ジェンダー社会科学専攻
博士前期課程1年
山本 菜々美

私は日本の対中認識について研究しています。ジェンダー社会科学専攻の授業の多くは少人数で行われており、主体的に議論に参加できることが魅力的だと感じています。研究が行き詰まることもありますが、先生方や先輩方に何度も相談に乗っていただきながら、楽しんで研究を進めることができている。様々なバックグラウンドを持った学生に囲まれ、刺激的な院生生活を送っています。



人間文化創成科学研究科
理学専攻
物理学領域
博士後期課程2年
釣 希夢

私の研究分野は、高エネルギー素粒子物理学です。ヨーロッパに設置された世界最大粒子加速器のデータを解析し、そこで生成される新粒子の発見を目指しています。国際研究機関と共同研究をすることで、研究室の仲間だけでなく学外の学生や、海外の研究者と意見を交わすことができている。豊かな発想力を持った友人と日々刺激を与え合える環境が、充実した研究生生活を支えてくれています。

※学生の学年は2023年3月現在



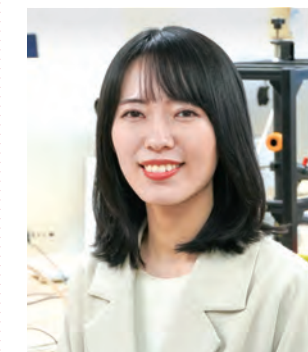
人間文化創成科学研究科
人間発達科学専攻
保育・児童学領域
博士後期課程1年
齊藤 あすみ

私は保育実践におけるビジュアルな記録の方法と保育者の省察の関わりについて研究しています。授業では国内外の教育実践・思想をテーマとし、難解な文献を協働して読む貴重な機会となっています。本学は同じ敷地にナーサリー、こども園、附属幼稚園があり、優れた実践に身近に接する機会があることも魅力的です。院生には現職教員も多く、働きながら研究を続けられる環境が整っています。



人間文化創成科学研究科
ライフサイエンス専攻
食品栄養科学コース
博士前期課程1年
武田 環

私は、災害時の栄養と食事について研究をしています。自分の研究成果が災害対策のツールに反映され、現場で活用されることにやりがいを感じます。食品栄養科学コースは、先生や先輩方との距離が近いので、研究や論文執筆で困ったらすぐに相談してアドバイスをいただけるのが魅力です。学会発表や共同研究の機会もあり、学外の方々との交流を通じて視野を広げ、研究を深めています。



人間文化創成科学研究科
生活工学共同専攻
博士前期課程1年
中島 柚季

私は住居の床振動情報を利用した身体活動量推定について研究を行っています。本専攻は人間と生活環境に関する幅広い領域を扱っているため、自身の研究室の専門分野である身体活動評価だけでなく、建築学や人間工学などについても多角的に学ぶことで、研究活動に生かしています。また本専攻では研究室の先生方に、一人ひとりが丁寧に指導していただける点がとても魅力的だと感じています。

副専攻プログラム

大学院では専門性を深めることはもちろんですが、同時に視野を広げることも重視しています。そのために、各専攻の専門教育の充実を図るだけでなく、領域横断的な副専攻プログラムを設けています。

■ 男女共同参画リソース・プログラム

男女共同参画アドバイザーや各地の男女共同参画センター及び女性センターの専門員や管理職、JICAなどの国際機関の女性に関わる案件の専門家など実務家育成を目途としています。さらに、研究者であれば、大学及び研究機関での男女共同参画やセクシュアル・ハラスメントに関する見識のある人材を、文化マネジメント専従の専門家に対しては、ジェンダー視点からのアイデアによる企画展示ができる人材を、そして企業においては、広く人事・キャリア形成のアドバイザーや男女共同参画の視点で製品・サービスの研究・開発ができる人材を育成することを目指しています。

■ コア・サイエンス・ティーチャー(CST)プログラム

CST副専攻では、小学校及び中学校の理科に熟達し、児童生徒の観察・実験の指導や自由研究の指導、そして地域の教育資源等を生かした教材開発、さらには教員研修を実施できる総合的な理系人材を養成します。そのために、科学教育特別研究、科学教育基礎、科学教育I・II、科学教育教材研究、サイエンス・コミュニケーション論の6科目(博士前・後期課程共通)とCST総合研究(博士後期課程のみ)を開講します。なおこれらの授業は、小学校と中学校理科の接続や、豊富な実験実習や先端的なトピックスを含みます。

■ グローバル理工学副専攻プログラム

「みがかずば」の精神に基づきイノベーションを創出し続ける理工系グローバルリーダーの育成

本プログラムは、ライフサイエンス専攻または理学専攻の各コースの学生を対象とした博士前期・後期課程5年一貫制の副専攻プログラムです。2019年度までは、産学官において活躍できる理工系女性博士リーダー育成を目指す文部科学省の「博士課程教育リーディングプログラム」として実施していました。

【基盤力を強化】

国際社会で活躍するリーダーを育成するため、基盤力(イノベーション創成科目:数学・物理・情報・化学・生物・工学)の強化を促進しています。さらに、リベラルアーツ・リーダー・キャリア教育の実施を通じて、専門分野に限定されない幅広い知識を身につけていきます。

【グローバル研修の実施】

履修生は各自のPBTSの研究に応じて、国内外の研究機関・企業等での前期課程では3か月、後期課程では6か月程度の学外研修を積むことによりグローバルな視点の育成を目指します。



■ 日本文化論プログラム

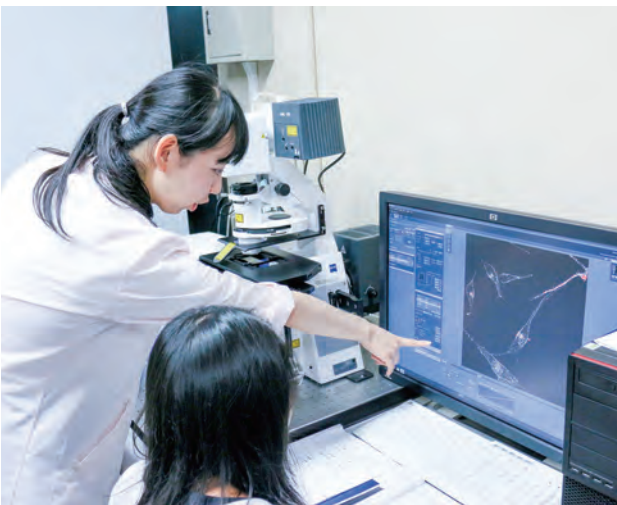
本学大学院では、大学院修了後に国際的な場で社会貢献を行う人材(留学生を含む)の育成を積極的に推進しています。こうした学生が日本文化と日本の思维方法を理解することは、日本文化理解の適切な国際標準の形成に資するでしょう。さらに、グローバル化に伴う価値一元化傾向に対する批判的視点を積極的に提示し、それを通じて多様な文化の共生を促進する一助となることも期待されます。

【PBTS(Project-Based Team Study)を通じたプロジェクト・ワーク】

PBTSは、異なる専門分野をもつ大学院生がチームを作り、自らがテーマを設定し、プロジェクト計画を立てて、課題解決に挑むお茶大オリジナルの新しい学修プログラムです。PBTSでは、異文化・異分野に対応する力、体系的に問題を解決する力、プロジェクトマネジメント力等を習得します。

【産・官・学との連携】

本プログラムでは、企業(IHI、ニコン、プリヂストン等)や研究機関(総研大、理研、統数研等)からの協力者を迎え、産・官・学との強い連携のもと、博士人材の社会進出を促進しています。



キャリア副専攻

キャリア副専攻は、博士前期課程修了後に高い専門性を活かすための実践的な就業力を育成することを目的としたカリキュラムとなっています。現代社会は、不確実性が高く、将来の予測が困難であるため、職業生活において求められる知識は高度化・複雑化しています。こうした背景において本副専攻は、高度な専門性を備え、活躍するリーダーの多くが博士前期課程を修了(修士号を取得)しているという世界的な動向を踏まえています。

■ キャリア副専攻【公務員】

博士前期課程修了後に国家公務員などの公務員を志す大学院生を対象としています。経済、政策、法制度、英語などの実務的な知識やスキルの習得を通じて、高い専門性を実務に活かす実践力を育成することを目的としたカリキュラムとなっています。公務員として必要な理論・知識の学修を基本とし、その上で選択科目として行政に関連する領域を選択的に学びます。例えば必修選択科目「行政特論」では、憲法、民法、行政法を学ぶとともに公務員という仕事への理解を深めます。このようなキャリア副専攻【公務員】での学修を通じて、行政に携わるための幅広い実務的な知識と視点、倫理観を持ち、公の立場として社会に貢献する人材を育成することを目指しています。

■ キャリア副専攻【消費者科学】

消費生活アドバイザー資格保持者が「指定大学院」において所定の科目を履修し、修士号を取得した場合に付与される「マスター消費生活アドバイザー」資格を目指す大学院生を直接の対象としています(本キャリア副専攻は「指定大学院」指定済み)。これからの消費社会を牽引するには、生活者視点を持ち、ジェンダー平等の理念に基づく持続可能で公正な市民社会の構築を見据えた大学院修士レベルの高度な専門性が重要です。「消費社会とジェンダー論」「消費者市民社会と消費者政策」「金融教育論」などの科目によって、消費者問題に関心のある院生、消費者行政関係者、消費者教育に携わる社会人学生などにも、広く教育・研究の機会を提供します。

共通科目

博士課程には専門科目だけではなく、すべての専攻の学生向けに共通科目を設置しています。共通科目は、博士前期課程、後期課程いずれの学生も履修することができます。副専攻プログラム等、専門教育に限らない幅広い範囲の科目が設定されています。特に特色のある科目として以下のキャリア開発特論、グローバル女性リーダー特論が挙げられます。また、英語アカデミック・ライティング、英語アカデミック・プレゼンテーションといった国際的に活躍する研究者にとって必要な英語で論文を書き、発表をするための訓練を行う科目を開講しており、多くの学生が受講しています。各科目はただ講義を受けるだけではなく、自らの研究についての発表を行う等、実践的な内容となっています。

■ キャリア開発特論

「博士人材としての能力開発」を目的として、基礎編と応用編の2つの授業(各2単位)が開かれます。修士号を持って社会に飛び出す院生も対象とします。基礎編は、これまでの自分、今の自分、これからの自分について見直し、目指すべき自分の姿を明確にし、生涯にわたる生活、研究、労働のビジョンを作り、具体的なアクションプランを立てるワークショップスタイルの集中講義です。実践編は、ビジネスで活躍する方たちや博士人材として活躍しているOGなどとの交流の機会を提供し、高度な専門性を持った人材として社会における立ち位置を理解します。また英語におけるプレゼンテーション・スキル、グローバル・スタンダードとローカル・スタンダードの競合と共存など、グローバル人材としてのコミュニケーションスキル向上を目指します。

その他

■ ワークインプログレス ～女性博士人材と企業等との交流イベント～

博士課程およびポスドクを対象としたキャリア形成・就職支援の一環として、博士人材と企業関係者が自由に情報交換を行い、積極的にお互いを知り合える場を提供しています。企業などの研究開発や事業構造、業務の実態について話を聞くことで研究者に求められていることを理解し、将来のキャリアビジョンを考え、アカデミアだけでなく企業での活躍の場を広げるきっかけづくりとなるような充実した支援を提供しています。

各種奨学金・助成制度（大学院生対象）

さまざまな支援プログラムが用意されています。

詳細はHP <https://www.ocha.ac.jp/campuslife/scholarship/list.html>



◎ 各種奨学金・助成制度（大学院生対象）

	基金の名称	授与対象者	奨学金の額	授与枠	
博士前期課程	桜蔭会研究奨励賞（予約型奨学金）	本学学部を卒業し、引き続き本学大学院博士前期課程に進学する者（学内進学者）で、学業、人物ともに優れた者	200,000円	20名	
	小澤美奈子奨学金（予約型奨学金）	①本学学部を3月に卒業見込みの者で、引き続き本学大学院博士前期課程ライフサイエンス専攻、理学専攻若しくは生活工学共同専攻に強く進学を志望する者 ②成績、人物とも優秀で、大学又は大学院において修学上経済的支援が必要と認められる者 （①～②のすべてを満たす日本国籍を有する者）	500,000円 （1年あたり250,000円）	若干名	
	竹村和子奨学金	本学大学院博士前期課程に在学する者で、成績顕著な者	50,000円	1名	
	KSP-SP奨学金（予約型奨学金）	①マーケティング分野を志す者 ②本学学部を卒業見込みの者で、引き続き本学大学院博士前期課程に強く進学を志望する者 （①～②のすべてを満たす日本国籍を有する者）	500,000円	—*	
博士後期課程	大学院生（博士後期課程）奨学金（予約型奨学金）	本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き本学大学院博士後期課程に進学する者（学内進学者）で、学業、人物ともに優れた者	300,000円	10名	
	お茶大アカデミック・プロダクション大学院生フェローシップ	将来研究や組織を率いてイノベーションを創出する「グローバル女性リーダー」の資質・能力をもち、本学大学院博士後期課程に入学・進学する者	年額2,000,000円 （うち研究専念支援金1,800,000円、研究費200,000円）	6名	
	大学院研究科奨学金	本学大学院博士後期課程において研究に従事し、その成績顕著な者	100,000円	1～2名	
	菅聡子奨学金	本学大学院博士後期課程において日本語日本文学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	250,000円	1～2名	
	錦織チサエ奨学金（予約型奨学金）	本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き本学大学院博士後期課程に進学する者（学内進学者）で、学業、人物ともに優れた者	500,000円	—*	
コース・専攻等、共通	創立120周年記念事業国際交流振興基金・桜蔭会国際交流奨励賞	海外留学支援事業	本学大学院博士後期課程修了者又は在学中で、成績優秀かつ将来が囑望される者のうち海外研修を希望する者	1,500,000円を限度	1～2名
		アジア女性研究者支援事業	本学学生として留学後、アジアの各地域において研究者又は各界の指導者として活躍し来日研修を希望する者		若干名
	海外留学特別奨学金	①大学間交流協定に基づく交換留学派遣学生等として留学（1年を限度）し、留学先の大学に留学期間中の授業料を納付する者 ②留学期間中、本学の授業料免除の全額免除を受けていない者 （①～②のすべてを満たす者）	本学の授業料の年額又は年額の2分の1に相当する額が上限	若干名	
	創立140周年記念海外留学支援奨学金	本学学生の短期留学（short visit） ①学部生及び大学院生（ただし、留学期間に休学する者を除く。） ②外国の大学、短期大学又は大学院に留学する者 ③国際教育センターが募集する短期留学（サマープログラム等）に申請した者 海外の大学間交流協定校からの短期留学（short stay） ①海外の大学間交流協定校に在学し、所属校から推薦された者 ②特に成績優秀な者	原則50,000円	100名（予定）	
	高田弘子奨学金（予約型奨学金）	本学大学院博士前期課程又は博士後期課程に在学する者で、帰国後も研究を継続する意思を持って海外研究留学を行う予定又は行っている者	500,000円	前1名・後1名	
	富永ふみ教育基金	本学正規課程の私費外国人留学生で発展途上国の国籍を有し、成績、人物ともに優秀であり、経済的支援を必要とする者	300,000円	1名	

	基金の名称	授与対象者	奨学金の額	授与枠
コース・専攻等、共通	池田摩耶子記念奨学金	1. 本学大学院において国際的な研究に従事し、成績顕著な者 2. 学部、大学院に私費で在学する外国人留学生で成績顕著な者	200,000円	若干名
	池田重記念奨学金		200,000円	
	竹村和子海外研修奨学金	本学大学院に在学する者で、成績顕著な者	1年目2,000,000円 2年目1,000,000円	1名
	自然地理学奨学金	本学文教育学部人文科学科地理学コース及び大学院に在学する者で、自然地理学関係の研究に従事し、優れた研究が見込める者	国内調査20,000円 又は海外調査40,000円	3名
	湯浅年子記念特別研究員奨学金	本学出身者、在学する者又は附属高等学校出身者で、自然科学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	博士前期課程 月額700ユーロ 博士後期課程（一般給費）月額1,500ユーロ 博士後期課程（研究実習給費）月額1,704ユーロ	1名
	保井・黒田奨学金	自然科学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	30,000円	5名
	数学奨学金	本学出身者又は本学大学院博士前期課程及び学部在学する者で、数学の成績顕著な者	100,000円	1名
	矢部吉禎・矢部愛子奨学金	本学学部または大学院に在学する者で、植物学または数学を学ぶ者のうち、学業成績や研究能力が優秀な者	500,000円	植物3名・数学3名
	化学科（宮島直美）奨学金	本学理学部化学科及び大学院に在学する者で、化学の成績等顕著な者	100,000円	前2名・後1名
	食物学奨学金	食物学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	100,000円	若干名
	家庭経営学奨学金	家庭経営学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	100,000円	1～2名
	被服学奨学金	被服学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	100,000円	制限なし
育児支援奨学金	本学の正規学生で本学が設置する保育所を利用する者	原則、保育料の半額	制限なし	

※2023年3月現在、募集を停止しています。

奨学金受賞者の声



受賞者

人間文化創成科学研究科 比較社会文化学専攻
日本語日本文学コース 博士前期課程1年
柄田 千尋

室町時代に来日した外国人宣教師がローマ字綴りの日本語を用いて書き残したキリシタン資料を対象に、日本語の表記や音韻について研究しています。お茶大では先生方による手厚いご指導の恩恵を大いに受けつつ、温かい雰囲気の中で日々言葉の歴史に思いを馳せています。桜蔭会研究奨励賞で頂くことができた奨学金は研究を進める上で大変ありがたいもので、書籍の購入費として活用させていただきました。このような恵まれたお茶大の環境と奨学金の制度に大変感謝しております。今後も日々学びを積み重ねつつ、研究に精進していきたいと思っています。

※学生の学年は2023年3月現在

<お茶の水女子大学大学院 入学科・授業料>

- 入学科 282,000円（予定額）
 - 授業料 半期分 267,900円（年額 535,800円）（予定額）
- 入学時及び在学中に授業料の改訂が行われた場合は、改訂時から新授業料が適用されます。（注）ライフサイエンス専攻遺伝カウンセリングコースについては、認定遺伝カウンセラー資格取得に当たって、遺伝カウンセリング実習研修費が別途、必要となります。

国際交流

—お茶の水女子大学から世界につながる教育と研究—

大学院生を対象とした
海外での研究・留学支援

海外での研究活動や協定大学への留学を支援する
さまざまなプログラムや制度があります。



詳細はHP <https://www.ocha.ac.jp/intl/studyab/index.html>

派遣プログラム及び助成制度

派遣プログラム

- 大学間交流協定に基づく交換留学
- 海外語学研修(マンチェスター大学、カリフォルニア大学デービス校、マギル大学、ハル大学 他)
- 協定校主催短期研修(梨花女子大学校、ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院、バリャドリッド大学、ブッパタール大学、トムスク国立教育大学、キャンパスフランス 他)
- 理学系学生対象短期研修(セントメアリーズ大学 等)
- 海外における日本語教育実習プログラム
- バーギシェ・ブッパタール大学研修留学大学院生派遣事業
- グローバル協力センターによる国際調査

- ジェンダー研究領域の交換派遣プログラム(アジア工科大学院大学、ノルウェー科学技術大学)

助成制度

- 「湯浅年子記念特別研究員奨学基金」による海外派遣
- 「お茶の水女子大学120周年記念桜蔭会国際交流奨励賞」による海外派遣

※上記の内容は変更の可能性があります。
※上記以外に、交換留学、短期留学等の留学形態や期間別の大学独自の給付型奨学金があります(P15参照)。また、文部科学省、日本学生支援機構、地方自治体及び民間財団等による給付型奨学金もあります。

大学間交流協定締結大学 89校 (2022年12月1日現在)

アジア

- インドネシア国立芸術大学デンパサール校(インドネシア)
- 国立インドネシア大学(インドネシア)
- 韓国芸術総合学校舞踊院(大韓民国)
- 慶北大学校(大韓民国)
- 啓明大学校(大韓民国)
- 建国大学校(大韓民国)
- 高麗大学校(大韓民国)
- 淑明女子大学校(大韓民国)
- 同徳女子大学校(大韓民国)
- 釜山大学校(大韓民国)
- 釜山外国語大学校(大韓民国)
- 梨花女子大学校(大韓民国)
- アジア工科大学院大学(タイ)
- タマサート大学(タイ)
- チェンマイ大学(タイ)
- プリンズ・オブ・ソングラ大学(タイ)
- 開南大学(台湾)
- 国立政治大学(台湾)
- 国立台北芸術大学(台湾)
- 国立台湾大学(台湾)
- 台北医学大学(台湾)
- 東海大学(台湾)
- 大連外国語学院(中国)
- 復旦大学歴史学系(中国)
- 北京外国語大学(中国)
- 北京大学歴史学系(中国)
- 国立ハノイ教育大学(ベトナム)
- ハノイ大学(ベトナム)
- ベトナム科学技術アカデミー・ゲノム機関(ベトナム)

中東

- アルザフラー大学(イラン・イスラム共和国)
- アンカラ大学(トルコ)

オセアニア

- シドニー工科大学(オーストラリア)
- ニューサウスウェルズ大学(オーストラリア)
- オタゴ大学(ニュージーランド)

アフリカ

- カイロ大学(エジプト)
- マンソウラ大学(エジプト)

北米

- ヴァッサー大学(アメリカ)
- オルブライト大学(アメリカ)
- カリフォルニア大学サンディエゴ校(アメリカ)
- カリフォルニア大学デービス校(アメリカ)
- カリフォルニア大学リバーサイド校(アメリカ)
- セントメアリーズ大学(アメリカ)
- チャタム大学(アメリカ)
- ノースイースタンイリノイ大学(アメリカ)
- 南オレゴン大学(アメリカ)
- ミルズカレッジ(アメリカ)
- カモーンカレッジ(カナダ)
- プレシア大学(カナダ)
- マギル大学(カナダ)

南米

- サンパウロ大学(ブラジル)

ヨーロッパ

- イースト・アングリア大学(イギリス)
- オックスフォード大学クイーンズコレッジ(イギリス)
- オックスフォード大学リネカーカレッジ(イギリス)*1
- セントラル・ランカシャー大学(イギリス)
- ハル大学(イギリス)

- プリマス大学(イギリス)
- マンチェスター大学(イギリス)
- ロンドン大学キングスカレッジ(イギリス)
- ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院(イギリス)
- ロンドン大学バークベックカレッジ(イギリス)
- 国立ナポリ大学オリエンターレ(イタリア)
- コッレージョ・ヌオーヴォ(イタリア)
- 'サピエンツァ' ローマ大学(イタリア)
- ウィーン工科大学(オーストリア)
- ダーラナ大学(スウェーデン)
- バリャドリッド大学(スペイン)
- ブルゴス大学(スペイン)
- スロバキア工科大学(スロバキア)
- リュブリャナ大学(スロベニア)
- カレル大学(チェコ)
- ブラハ芸術アカデミー(チェコ)
- コペンハーゲン大学(デンマーク)
- ケルン大学(ドイツ)
- バーギシェ・ブッパタール大学(ドイツ)
- プレーメン応用科学大学(ドイツ)
- ノルウェー科学技術大学(ノルウェー)
- エトヴェシュ・ローラード大学(ハンガリー)
- セントリア先端科学大学(フィンランド)
- タンペレ大学(フィンランド)
- クレルモン・オーベルニュ大学(フランス)
- ストラスブル大学(フランス)
- パリ市立工業物理化学高等専門大学(フランス)
- パリ・ディドロ(パリ第7)大学(フランス)
- ボルドー大学(フランス)
- ヨーロッパ理工学院パリ・デジタルイノベーション大学院(フランス)
- ワルシャワ大学(ポーランド)
- ヴィータウタス・マグヌス大学(リトアニア)
- プカレスト大学(ルーマニア)
- トムスク国立教育大学(ロシア)

*1 学生派遣の協定はありません。

留学経験者の声

短期研修



【留学先】

モナシュ大学

人間文化創成科学研究科
ライフサイエンス専攻
食品栄養科学コース
博士前期課程修了(2021年)

小鳥井 あおい

オーストラリアのメルボルンにてGlobal Professionals Program(グローバルな企業や環境でキャリアを築きたい学生への短期プログラム)に参加しました。中国やマカオの学生とともに、ワークやプレゼンテーション、企業訪問を通じて、異文化理解・Employability skills・個人や企業のBrandingなどを学びました。国籍・学問分野・学年を越えた交流を通じて、自分の特性を国際的なレベルで知れたことは大きな収穫でした。また、現地の方々のキャリアは必ずしも1つの専門に留まらず、軸をもとに活躍の場を変えている方が多い印象を受け、長期的目線で進路選択の視野が広がりました。研究中でも留学機会は多くあり、奨学金などのサポートも充実しています。本プログラムに限らず、将来の仕事や生き方の選択肢も広がると思いますので是非挑戦してみてください。

長期交換留学



【留学先】

ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院(SOAS)

人間文化創成科学研究科
比較社会文化学専攻
歴史文化学コース
博士前期課程2年

栗原 茉海

私の専門は日本美術史ですが、もっと広い視野で美術を学びたいと考え、アジア・アフリカに特化した研究機関であるロンドン大学SOASへの留学を決めました。世界でも有数の文化都市ロンドンに「生活」として身を置くことは、慌ただしい観光旅行とは違う、留学ならではの体験だと日々実感しています。大学院での長期留学のメリットは、自分の専門について知識を十分に蓄えてから臨むので、より深い学びを得られることです。大学には渡航前の事務手続きから滞在中のケアまで十分なバックアップが用意されており、留学に少しでも興味があれば、踏み出すための環境は整っています。

※学生の学年は2023年3月現在

2019年度 AIT ワークショップ・プログラムと2020年度春季ポラード短期留学プログラムに参加しました。一週間のAITプログラムでは開発学の授業を聴講したり、NGO団体を訪問したり、「現地の人々」の視点からジェンダー、スラム、農村開発等に関する地域開発学の知識を学びました。そして、ワルシャワ大学での一ヶ月間の短期留学では、充実したカリキュラムのほかに、クラクフ、アウシュヴィッツ強制収容所での課外学習を通して、より立体的な視点から平和学を理解できました。中国人の留学生としてお茶大に留学しながら、さらにお茶大から日本国外に留学する機会をいただいて得た貴重な経験を、今後の研究に活かしていきたいと思っています。留学希望者には、是非挑戦してほしいと思います。

短期研修



【留学先】

ワルシャワ大学

人間文化創成科学研究科
ジェンダー学際研究専攻
ジェンダー論領域
博士後期課程2年

侯 婷玉

私は大学院で情報科学を専攻しており、主に語学力の向上を目的に半年間ウィーン工科大学に交換留学をしました。本来は修士1年で留学に行く予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で1年延び、留学の準備と修士論文の作成を同時に行わなければならなかったのが大変でした。しかし、それを乗り越えた留学先では、現地の友人だけでなく世界中から集まる留学生と出会い、彼ら彼女らと共に時間を過ごすことで、毎日刺激的で楽しく、学びの多い日々を過ごすことができました。語学力の向上だけでなく、人種のマイノリティに生きるという経験を通して、今までになかった視点を養えたことが大きな収穫です。留学でしか経験できないことは本当にたくさんあるので、貴重な学生生活のなかでぜひ挑戦してみてください。

長期交換留学



【留学先】

ウィーン工科大学

人間文化創成科学研究科
理学専攻
情報科学コース
博士前期課程修了(2022年)

小川 公子

研究環境

育児支援 …女性のキャリアとライフコースの両立



お茶の水女子大学では、2005年4月1日から、国立大学法人では初めての附属学校部の所属となる学内保育所「いずみナーサリー」を設置しました。保育室には、無垢の木で作られた温もりのある家具や大型遊具を設え、冬場でも乳幼児が素足で過ごせるよう、床暖房を入れています。また、四季折々に自然豊かな学内へのお散歩や、隣接している附属幼稚園の園庭での外遊びなど、都心にありながら、からだを思いきり動かして遊ぶ屋外環境もあります。女性研究者支援の場であることはもちろん、質の高い保育を行う乳幼児保育施設であり、同時に保育研究を行う場でもあります。なお、本学の正規学生は、いずみナーサリー保育料の半額相当の補助を受けられる「育児支援奨学金」制度を利用することができます。



◎いずみナーサリーの概要

定員	1日26名
入所対象児	<年齢>生後6か月～4月1日現在で満3歳未満 <保護者>大学関係者(学生・教職員・その他)
保育時間	月～金 8:30～17:30
利用形態	月ぎめ保育(就労・研究のニーズに合わせた利用日数選択型) 時間預かり保育
保育料	利用日数・方法に合わせた料金設定 (本学の学部生・大学院生は保育料の半額相当を育児支援奨学金として受けられます)

◎いずみナーサリー
<https://www.fz.ocha.ac.jp/izumi/>



図書館

図書館は、快適な学習空間と充実したサービスによって、多様な研究スタイルを支援します。

研究スペース

図書館2階奥に「大学院生用研究スペース」、1階にはプレゼンテーションルームなどのセミナーや研究発表のためのスペースを用意しました。また、論文作成に有用なデータベースなどを快適に利用できる環境を整えています。

複写物・図書取り寄せ 無料化

これは、本学が他大学に先駆けて実施した学生への研究支援の一例です。本学に所蔵のない資料の現物や複写物を取り寄せる際、料金が無料となります(図書の返送料を除く)。



人間文化創成科学研究科・全学共用研究棟

全学共用研究棟には2階にブース式の研究スペースがあり、研究に集中する環境が整備されています。また、1階入り口正面にあるラウンジは、研究の合間に友人とおしゃべりしたり、グループディスカッションを行ったりと広く利用されています。



トランスジェンダー学生受入れについて

本学の「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションから、自身の性自認にもとづき、女子大学で学ぶことを希望する人を2020年度の入学から受け入れております。戸籍(又はパスポート)の性別と性自認が異なっている方については、入学後の学生生活をサポートするために、通称名や更衣室の使用などについて、あらかじめ情報を提供したいと考えていますので、事前にご相談ください。事前申出の詳細は、各学生募集要項をご覧ください。

HP <https://www.ao.ocha.ac.jp/menu/001/040/d006117.html>

豊富な研究支援

HP <https://www.ocha.ac.jp/attached/index.html>



■ 研究機能強化のための戦略的研究組織

- グローバル女性リーダー育成研究機構
 - ・グローバルリーダーシップ研究所
 - ・ジェンダー研究所
 - ・ジェンダード・イノベーション研究所
- ヒューマンライフイノベーション開発研究機構
 - ・ヒューマンライフサイエンス研究所
 - ・人間発達教育科学研究所
- 総合知開発研究機構
 - ・コンピテンシー育成開発研究所
 - ・理系女性育成啓発研究所
 - ・サイエンス&エデュケーション研究所
- サステイナブル社会実装機構
 - ・SDGs推進研究所
 - ・湾岸生物教育研究所

■ ジョブ型研究インターンシップ

これまでの企業でのインターンシップとは全く異なる、企業での長期有給インターンシップが令和3年から実施されています。また、令和2年3月には「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」が提示するアクションプラン中、「ジョブ型採用につながる長期インターンシップ試行の推進」が位置づけられました。これらを踏まえ、文部科学省と経団連共同の「ジョブ型研究インターンシップ」が施行されています。様々な企業の研究インターンシップが随時更新されていく予定ですので、是非参加をご検討ください。詳細については、入学後にご案内します。

■ 大学院で働きながら学ぶ制度

- TA制度
ティーチング・アシスタントは、大学院生を学部又は博士前期課程の講義、実験、実習、演習などのアシスタントとして雇用する制度です。
- RA制度
リサーチ・アシスタントは、博士後期課程に在籍する学生を、指導教員の研究アシスタントとして雇用する制度です。
- プロジェクト研究員
博士後期課程の学生を、研究支援員として雇用する制度です。

■ 本学独自の研究員制度

- RF制度
リサーチフェローは、本学での学位取得者(課程博士)を対象に、公募により採用されます。雇用期間は原則として1年間で、研究活動に従事します。
- 研究院研究員制度
研究院研究員は、本学での学位(博士)取得者すべてを対象に、公募により毎年50人程度採用されます。本学研究員としての所属証明を与えられます。
- 特別研究員(みがかずば研究員)制度
優れた女性研究者の継続的な研究活動を支援するとともに、女性研究者が研究中断後に円滑に研究現場に復帰する機会を提供します。

小石川寮

本学から徒歩3分の場所に、全室個室の大学院生(留学生を除く)向けの寮があります。小石川寮は在寮生同士が自治会を組織して運営しています。例年2月に学生からの申請に基づき、入寮許可を決定します。なお、令和6年4月から留学生の入寮開始を予定しています。

収容定員	定員 77名
入寮資格	実家から大学まで1時間30分以上離れていること(新幹線、飛行機は使用しない)なお、実家の家計から独立した生計を営んでいる者は資格あり
入寮判定	収入証明書及び住民票などの提出書類を元に総合的に家計を判断し入居の可否を判定する
寄宿料	月額4,300円(他に光熱水料及び自治会費等、フロア毎に共益費等の負担あり)
居室設備	個室(9.45㎡):机、椅子、ベッド、クローゼット(小)、吊り棚・エアコン *トイレ、洗面所、お風呂共同 ネット接続は指定業者と別途契約
共有施設	談話室(1F)、公衆電話(1F)、洗濯機(各階2台)、乾燥機(各階1台) 風呂(各階 シャワー室 浴室1室ずつ)、補食室(各階 湯沸器、冷蔵庫、テーブルセット完備)
自治会	自治会役員(寮長、副寮長、検針、会計、書記、防火防犯、入退寮、自転車)を各寮生が分担している ・任期は半期(前期(6月～11月)、後期(12月～5月))・その他に鍵当番、各フロアの係分担・フロア掃除当番等がある

利用者・経験者の声



いずみナーサリー
利用者

人間文化創成科学研究科
ライフサイエンス専攻
遺伝カウンセリングコース
博士前期課程1年
清水 舞

遺伝カウンセリングコースでは、1年次はほぼ毎日9-17時で講義が詰まっており、2年次は5ヶ月間の病院実習があります。文字通り全力疾走の日々ですが、学内にナーサリーがあるお陰で集中して学業に取り組むことができます。また、有事の際にも走って迎えに行けるという安心感があります。ナーサリーへの預け始めには息子が馴染めるか心配していましたが、1-2ヶ月経つ頃にはすっかり息子の居場所になり、先生方やお友達の輪の中で四季を過ごしながらかんやかに成長しています。何より、体力が付き活発になっていく幼児期に、大学構内や附属幼稚園の園庭といった自然豊かな環境で毎日心ゆくまで外遊びをできることは、親としてとてもありがたく思っています。



社会人入学者

人間文化創成科学研究科
比較社会文化学専攻
表象芸術論領域
博士後期課程1年
向田 瑞貴

私は大学の学部卒業後に公立中学校で音楽科の教員として6年間勤務し、現場での経験を通してもう一度音楽という学問を学び直したいと考え、進学を決めました。博士前期課程では、音楽に限らず教育や伝統芸能に関する勉強もすることができ、進学する前に思い描いていた以上の学びを得ることができました。現在は歌舞伎の伴奏音楽である長唄の受容と普及の在り方について研究しており、所属コースの先生方のみならず、他分野の先生方のお力も借りながら研究に取り組んでいます。お茶大は他分野との垣根が低く、幅広い学びを得られる環境です。この環境に身を置けることに感謝し、少しでもお茶大や社会に還元できるよう、精進してまいります。

※学生の学年は2023年3月現在

お茶の水女子大学で博士号を取得したのち、みがかずば研究員に採用していただきました。所属があること、大学施設を利用できること、受け入れ教員の指導を仰げること、研究を進めながらお給料をいただけることは、博士課程修了直後の身には大変ありがたく、精神的にも大いに助けられました。学会発表・講演や論文執筆の傍ら他大学の非常勤講師の仕事も掛け持ちし、経験を積むことで、翌年に芝浦工業大学に特任講師の職を得ました。現在は授業やゼミ運営に動しむ日々を送っており、近々、初の単著を出版する予定です。今日私が研究を続けられているのは、みがかずば研究員制度をはじめとした様々なサポートのおかげだと実感しております。



みがかずば
研究員制度利用者

芝浦工業大学 建築学部
特任講師
佐藤 香寿実
在職期間：
2020年4月1日～2021年3月31日

私は2014年に日本語・日本文化研修留学生（日研生）として初めてお茶大に留学する機会に恵まれ、女性の社会進出の促進に重きを置いた充実した勉強・研究環境に強く胸を打たれました。ポーランドに帰国後は、専門が日本語学から生物学に変わりましたが、2021年3月から正規生としてお茶大に入学し、現在は植物生理学の研究をしています。シロイヌナズナの未知のタンパク質ファミリーの機能解明というチャレンジ性の高い研究テーマに取り組み、指導教員の手厚い指導を受けながら、日々実験に励んでおります。学会発表の機会なども多く、お茶大では独立した研究者になるために不可欠な経験と知識を身につける環境が整っていると感じております。植物の研究は農業への応用にもつながるので、少しでも社会貢献出来るように、研究に精進したいと思います。



留学生入学者

人間文化創成科学研究科
ライフサイエンス専攻
生命科学領域
博士後期課程2年
**RZEPECKA
NATALIA
JULIA**

大学院入試情報

HP <https://www.ao.ocha.ac.jp/>



学生募集要項等の請求について

HP <https://www.ao.ocha.ac.jp/application/howto/index.html>

大学院への進学をお考えの方は、必ず、学生募集要項を取り寄せ、詳細をご確認ください。また、社会情勢等により、試験期日が急きょ変更になる可能性もあります。変更があった場合は、ホームページで通知いたしますので、最新情報を確認してください。



◎ 前期課程入試要項 実施専攻・コース及び募集人員

○および●印：各入試を実施するコース

専攻	募集人員 (注1)	コース	8月入試 (2023年10月入学・ 2024年4月入学)		9月入試 (2024年4月入学)			2月入試 (2024年4月入学)	
			一般入試 外国人留学生入試	社会人 特別入試	一般入試 外国人留学生 入試	社会人 特別入試	推薦入試	一般入試 外国人留学生 入試	社会人 特別入試
比較社会文化学専攻	60名	日本語日本文学コース			○	○	○	○	○
		アジア言語文化学コース			○	○	○	○	○
		英語圏・仏語圏言語文化学 コース(英語圏言語文化専修)			○	○	○	○	○
		英語圏・仏語圏言語文化学 コース(仏語圏言語文化専修)			○	○	○	○	○
		日本語教育コース			○	○	○	○	○
		思想文化学コース			○	○	○	○	○
		歴史文化学コース			○	○	○	○	○
		生活文化学コース			○	○	○	○	○
		舞踊・表現行動学コース			○	○	○	○	○
		音楽表現学コース			○	○	○	○	○
人間発達科学専攻	27名	教育科学コース			○	○	○	○	○
		心理学コース			○	○	○	○	○
		発達臨床心理学コース			○	○	○	○	○
		応用社会学コース			○	○	○	○	○
ジェンダー 社会科学専攻	18名				○	○	○	○	○
ライフサイエンス 専攻	40名	生命科学コース	●(注2)	○				○	○
		食品栄養科学コース	●(注2)	○				○	○
		遺伝カウンセリングコース	○	○				△(注3)	○
理学専攻	70名	数学コース	●(注2)	●(注2)				○	○
		物理学コース	●(注2)	○				○	○
		化学・生物化学コース	●(注2)	○				○	○
		情報科学コース	●(注2)	●(注2)				○	○

(注1) 募集人員は、8月・9月・2月実施の全コース及び全入試区分を含めた人数である。

(注2) 一貫で●のついたコース・入試区分についてのみ、10月入学を希望できる。

ただし、10月入学の場合は、2023年度の専攻・コースに所属し、2023年度の授業科目を履修することになること、また、2023年度の専攻・コースの担当教員から志望教員を選ぶことになるので、注意すること。

(注3) 「遺伝カウンセリングコース」の2月入試は、8月入試で定員が充足された場合、実施しない。2月入試の実施の有無は、11月30日(木)までに本学南門掲示板及びホームページ (<https://www.ao.ocha.ac.jp/>) 上で通知する。

◎ 後期課程入試要項 実施専攻・領域及び募集人員

○印：各入試を実施する専攻

専攻	領域	募集人員 (注1)	9月入試	3月入試
比較社会文化学専攻	国際日本学領域、言語文化論領域、比較社会論領域、表象芸術論領域	27名	○	○
人間発達科学専攻	教育科学領域、心理学領域、発達臨床心理学領域、社会学・社会政策領域、保育・児童学領域	14名	○	○
ジェンダー学際研究専攻	ジェンダー論領域	4名	○	○
ライフサイエンス専攻	生命科学領域、食品栄養科学領域、遺伝カウンセリング領域	13名	○	○
理学専攻	数学領域、物理学領域、化学・生物化学領域、情報科学領域	13名	○	○

(注) 募集人員には、一般入試以外の進学者選考の募集人員を含む。

◎ 生活工学共同専攻入試要項 実施課程(2023年10月入学(注1)・2024年4月入学)及び募集人員

専攻	募集人員	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
生活工学共同専攻(前期課程)	7名(注2)	○	○	○
生活工学共同専攻(後期課程)	2名(注2)	○	○	○

(注1) 10月入学を希望できるのは、夏季実施入試のみである。

(注2) 募集人員は、一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜を合わせてお茶の水女子大学、奈良女子大学、各大学7名(前期課程)又は2名(後期課程)とする。秋季(10月)入学の募集人員は、その中の若干名とする。